

つてさまざまな工作をする方に賭けますがね。

■：首相が2年間で4人も替わったニッポン。米下院軍事委員会公聴会でも話題になったことがありました。キャンベル米国務次官補は「首相や閣僚がコロナ交代すると、政府に必要な信頼の構築が非常に難しくなる」との証言。9・14の民主党代表選挙では、やっと菅首相の続投が決まり、米政界もホッとしていることでしょう。いや、小沢某なんか

■：政治が混迷している最中、円高になるは、株価は下がるは、このままだと経済全体が低迷しそうな状況でした。さる9月14日死去された日本商工会議所の前会頭山口信夫氏(85)の生前の言葉を憶い出しました。小泉政権時代の財政担当大臣に對して「実業の経験がない。学問の理論と現実はずう」と批判していました。こんな気骨のある財界人も少なくなりましたが。

■：それにしても一政党のトップ人事で、暑かった夏がよいムシムシ。『熱中症』とやらで命を失う人まで出て来ました。小沢某の『悪党面(づら)』が新聞紙面やテレビでアップに出て来ない限り、ニッポンは幸せ、というものです。今後はカネにまつわる疑惑の生じた政治家(もちろん地方の政治家も含めて)

■：今回の民主党代表選で、菅小沢両人とも同じ科白を言い回していましたね。『私には夢がある』——何処か聞いたことがあると思っ

た。暗殺された米国のマーチ・ルーサー・キング牧師の言葉でした。歴代の大統領も度々引用しました。小沢にも首相になりたい夢があったのでしようが、国民の平穩に、心安らかに暮らしたいささやかな夢なんか考えたこともないんじゃないですか。

■：代表選の票数は12222票で、菅が721で小沢が491とか。それにしても接戦の事前予測は各報道機関とも大はずれ。マスコミの連中

には、小沢に期待するものがあつたのでしょうか。政治家には色々なタイプがあつてもいいでしょうが、カネと権力に執着するのが一番きつた。番記者なら分かりそうなもの。それに女性の票がいくらあつたのかを報じたマスコミもゼロ。男女共同参画も政治に関しては『関係なし』ということなのでしょう。

■：アメリカではイスラム教の教書「コーラン」を焼く、焼かないで大騒ぎ。キリスト教の牧師がまさか他宗教の『聖書』を焼やすなんて。結局、焼かずじまいでしたが、他の州で2人の牧師がせつせとコーランを燃やしたそう。お陰でイラク

などイスラム教国家で反米運動が起こつたとか。イラクからも撤退、唯一の主戦場はアフガニスタンのみというところで、ホッと一息ついたアメリカ人も『コーラン燃やし』には眉をひそめていました。「焚(ふん)書」は中国秦(しん)の始皇帝が学者たちの政治批判を禁じるため儒書を焼き、学者たちを生き埋めにした大昔のこと。日本でもキリスト教徒の迫害が江戸時代に、やはりいつの時代も寛容の精神が大事ということでしょう。

月刊公論 MONTHLY
KORON

11月号 第43巻11号

平成22年11月1日発行 毎月15日発売
定価890円(本体848円) 送料92円

発行人
発行所

大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
株式会社財界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616

印刷所
取次店

株式会社廣済堂
トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。